



令和4年3月31日

岩倉市議会

議長 伊藤 隆 信 様

会派名 創政会

代表者名 梅村 均

質問作成実例研修（地方議員研究会）報告書

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

1 実施日 令和3年11月8日（月）

2 研修先 音声受講

3 出席人数及び氏名

1名	梅村 均	

4 復命事項

別紙のとおり



地方議員研究会 質問作成実例研修報告書（創政会）  
～絶対的質問力～

作成者：梅村均

【日 程】 令和3年11月8日（月）

【場 所】 音声受講

【参加者】 梅村均

【講 師】 村山祥栄氏（大正大学地域構想研究所客員教授、前京都市会議員）

【内 容】

（質問づくりの心構え）

- ・みんなの不満を形にすること。問題とは、理想と現実の差異をいう。
- ・したい質問より、聞きたい質問を。時流を掴んで質問すること。
- ・トレンドを早く掴み、いち早く提言すること。IT、ペーパーレス、PFS、SIBは時代の潮流。
- ・世の中はイメージで満ち溢れている。真実から目をそらさず、常識を疑う。裏を読むこと。（ネタ探し）

- ・ベストプラクティスを使う。Dファイル、政策立案データベース、TOP POINTなど。
- ・常日頃から新聞記事をクリアファイルに入れるなどストックしておく。ノートに書き留める。
- ・専門家の視点の活用：親書、オンライン記事、雑誌の特集など。
- ・陳情や市民との対話、現場での気づき。
- ・行政マンとの対話から。
- ・過去の質問を練り直す。

（議案説明から質問にする視点）

- ・政策意図はその施策で本当に果たせるのか？費用対効果は見込めるか？費用の妥当性はあるか？施策の欠点（公平性、しわ寄せなど）は？実行プロセスは妥当か？

（質問のゴールを決める）

- ・「どうするのですか？」ではなく、「こうしたい、こうすべき」提案型の質問を（\*市民が聞いてもらいたいことは、状況確認型でもよい。）
- ・理想を持たない質問は無意味、無責任

- ・調査の前に仮定・結論を

（質疑準備における注意点）

- ・準備は入念に時間を掛けて行う。事前調査を怠らないこと。
- ・年に1本は大掛かりなネタを仕掛けると良い。マスコミが飛びつくようなネタを。
- ・一度きりで終わらせないこと。
- ・質疑とは人の時間を奪うこと。公共の時間を奪う価値のない質問はご法度。
- ・安易な妥協はしない。痕跡を残すことが議会である。

（公園のトイレが汚いからの提案例）

- ・誰が、いつ掃除をしているか？どういうルール、どういう入札か？すべてのトイレが汚いのか？随意契約か？入札の見直し必要か？チェック体制は問題ないか？掃除に掛かるコストは適切か？低コストのトイレはないか？先進事例は？学校のトイレの問題に派生

## 【所 感】

質問作成に向けた日頃の議員活動における心構えが大変参考になった。調査の大切さや理想と現実とのギャップが課題・問題となるわけで、そんな視点で市民と会話し、社会を見ていきたい。また、一つの市民の声から、その内容だけで終わるのではなく、関係している事柄に問題がないかチェックをしていく姿勢を学ぶことができた。議案質疑や一般質問にしても、多くの人の時間を拘束しているわけで、限られた時間の中でより有効な質疑や提案ができるよう努めていきたい。